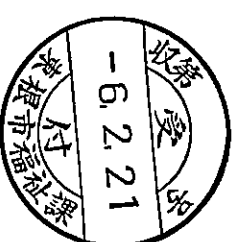


自己評価・運営推進会議における評価活用ツール



事業所名：ニチイケアセンター神町

作成者： 原田 由美

作成日： 2023 年 12 月 15 日

運営推進会議における評価実施日： 2024年 2 月 15 日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

Table with 6 columns: No., タイトル, 評価項目, 事業所自己評価, 記述, 運営推進会議における外部評価, 記述. Contains 15 rows of evaluation data.

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名: ニ子イケアセンター神町

作成者: 原田 由美

作成日: 2023年12月15日

運営推進会議における評価実施日: 2024年2月15日

(事業所としての自己評価日)

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会議 における 外部評価	記述
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	B	希望や意向を裏面に伝えられない利用者もいるので、日常生活での発言や行動をもとに把握に努めている。ご家族様の意見もお聞きしながら、本人本位の暮らし方が出来るように支援している。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	B	利用者個々に、担当職員を配置しモニタリングを実施計画作成担当者が担当職員から情報を得ている。また、必要に応じてご家族様から情報を得て計画作成に役立っている。	B	本人や家族の意向を汲み取って置置していると感じる事が多い。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	B	日々の状況を個別記録に記入するとともに、状況の変化や気づいたことは、業務管理日報、申し送りノートに記入し全職員で共有し、必要に応じて計画書の見直しを行っている。	B	本人の状態に応じて柔軟にリービンの変更を行い、情報共有を行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	B	紹介先の介護支援専門員の方や相談員の方、ご本人、御家族様から詳しくお話を伺った時点で、本当にグループホームがふさわしいのかを、明確に必要であれば他のサービスの利用の提案を行っている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	B	コロナ禍で、外出は出来ない状況ではあるが、施設内でのレクリエーションを通し楽しみが持てるような行事を検討し実践している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	A	協力医の往診(内科)体調に変化が見られた際には、その都度協力医に連絡し指示を仰いでいる。また、協力医以外のかかりつけ医を希望されている利用者には、ご家族様と連携しながら受診して頂いている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A	医療連携室を通して、病棟の看護師から話を伺う機会を作っていた。また、情報を得ている。また、かかりつけ医にも、その都度入院中の様子を報告している。	A	利用者が入院した際には、医療連携室やかかりつけ医との連携が出来ており情報共有が出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人、家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	B	入所時に、重度化や終末期に対する施設の方針を説明している。看護師不在の施設のみ、照看以外の医療行為が必要な場合とは適切な施設へ紹介する旨を入居前に説明している。	A	看護師不在であるが、入居前に医療行為への説明が出来ている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	B	緊急時のマニュアルを作成している。ユニット内に、利用者の容態急変時の連絡ルートが記載されているファイルを用意し、慌てることなく迅速な対応に努めている。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	A	年2回火災を想定した避難訓練を実施。11月の避難訓練は、消防署の方に参加して頂き日中の火災発生を想定した(ブライント訓練)を行った。区長と民生委員も参加してもらい施設の防火設備、訓練の様子など見ていただいた。	A	避難訓練に利用者や地域の方も参加してもらい取り組んでいる。

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

帳票C

事業所名：ニチイケアセンター神町

作成者： 原田 由美

作成日： 2023 年 12 月 15 日

運営推進会議における評価実施日： 2024年 2 月 15 日

〔事業所としての自己評価日〕

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会 員における 外部評価	記述
Ⅲ その他の人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A	一人ひとりの性格や、生活歴、認知症の症状を理解し、それに合わせた声掛けや対応を行っている。	A	利用者のプライバシーの確保に努め一人ひとりに合わせた声掛け対応を行っている。
27	日々の人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日どのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B	ご利用前に、ご本人様の嗜好をお伺いしながら希望に合わせたメニューを取り入れた季節感を盛り込んだ食事を提供している。参加への拒否がある際には無理強いをせず、ご本人様のペースで過ごせるように配慮している。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	B	ご利用前に、ご本人様の嗜好をお伺いしながら希望に合わせたメニューを取り入れた季節感を盛り込んだ食事を提供している。参加への拒否がある際には無理強いをせず、ご本人様のペースで過ごせるように配慮している。	A	利用者の希望や季節感を盛り込まれた食事を提供し、楽しみながら食事を提供している。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養、バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	B	毎日の介護記録に食事量や水分摂取量を記入し、食事や水分量が少ない時には、業務管理日誌のその言記載し、申し送りを行い利用者一人ひとりにとって十分な食事量、水分量が摂れるように配慮している。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じて口腔ケアをしている	A	毎食後、口腔ケアを行っている。ご自分で出来る方には声掛けで行っていただき、介助が必要な利用者には付き添い、必要に応じて介助している。歯料の診察や治療が必要な利用者には、訪問歯科の案内を行っている。	A	毎食後、利用者の状態に合わせた口腔ケアを行っている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のペース、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B	個人浴槽に入浴出来る方、ご本人様、御家族様の希望に沿って入浴していただく。構内浴が規模多機能型居室介護事業所の構内浴を利用していただく。	A	一人ひとりの排泄ペースを順調に保ち、排泄出来るように支援している。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイムズに合わせた入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、一人ひとりに合った支援をしている	B	一人ひとりの状態や生活習慣に合わせて、居室で休息の時間を取り入れられている。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	B	一人ひとりの状態や生活習慣に合わせて、居室で休息の時間を取り入れられている。		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A	スタッフ全員が一人ひとりの服用している薬の目的や副作用について学習しながら理解している。薬のケースには本人様ごとの学習カードや服薬カレンダー、服薬記録を揃えている。服薬後の状態観察は注ぎ薬を行う。	A	一人ひとりの服薬内容を把握し、服薬後の状態観察を行っている。
35	役割、楽しみことの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B	入居前の面談で、ご本人 御家族から得た情報を共有し、一人ひとりが役割や楽しみを持って過ごせる様に配慮している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	C	コロナ禍で外出は自粛しているが近所への散歩や施設の見学などの機会や取組などを行い気分転換を図っていただけるように支援を行っている。身体的機能が低下しないよう、塗り絵や壁面の創作活動やゲーム等を通して生活の楽しさを増やしている。自宅への外出希望や自宅を覗きたい希望された利用者には、家族様と事前にご相談し、ご家族様からご同意をいただいている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	D	お小遣いは、施設の金庫で預かり数量代や生活雑費などの購入に使っている。お小遣い帳で管理し、御家族様から確認していただいている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	B	御家族様からの電話があった時には、取り次ぎ直接話しをしております。また、届いた手紙は本人にお渡しし、必要であれば職員が読むの手伝いしている。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかちあえる生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A	利用者の皆さんと季節感あふれる作品を作成し、ビュウや廊下に展示している。また、室内で快適に過ごす事が出来るように定期的に換気を行い室温、エアコン、加湿器の管理を行っている。	A	利用者で作成した作品を掲示するなど季節感を大切に空間作りが出来ている。

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名: ニ子イケアセンター神町

作成者: 原田 由美

作成日: 2023年12月15日

運営推進会議における評価実施日: 2024年2月15日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

Table with 5 columns: No., タイトル, 評価項目, 事業所自己評価, 記述. Rows 40-49 covering topics like '本人の暮らしの状況把握・確認項目', '本人主体の暮らし', '生活の継続性', '本人が持つ力の活用', and '総合'.

総評

今年度は、2回目の運営推進会議を活用したサービス評価を実施しました。会議は、集合型で開催し当施設の様子や取組などを話させていただき...

現状におけるご指摘事項・事業所の課題

構成員
感染対策もあるかと思いますが、日常の様子を見学できる機会があればと感じました。
今年度は、感染対策上会議を行う場所が当施設ではなかった為に構成員の方々には施設内を...

参加者サイン欄

- 東根市役所福祉課長寿支援係
・ 区長
東根市地域包括支援センター中央
・ 家族代表 (ほほえみ)
民生員
・ グループホームさくらんぼ (管理者)

氏名の記載は、個人情報となりますので控えてさせていただきます。